

## 『日本救急医学会雑誌』投稿規定

『日本救急医学会雑誌』は日本救急医学会の機関誌であり、救急医学の専門性を追求し、その進歩、発展に寄与することを目的とするものである。

雑誌の構成は、総説、editorial、依頼論文、原著論文、症例報告、調査報告、研究速報、letter to the editor、学会通信、等からなる。このうち、総説、原著論文、症例報告、調査報告、研究速報、letter to the editor が投稿の対象となる。

### 1. 投稿内容

投稿論文は上記の趣旨をふまえた独創的なもので、他誌に未発表のものに限る。またカバーレターには他誌に未発表であり、他誌に投稿中ではないことを記載する。

### 2. 投稿者資格

ここで言う著者または共同著者は、①構想およびデザイン、データ取得、データ分析および解釈において相応の貢献がある、②論文作成または重要な知的内容に関わる批判的校閲に関与した、③出版原稿の最終承認を行った、④論文出版後、論文の内容に関して疑義が呈された時、自らの担当部分に関して責任をもって疑義に答えることが可能である、以上の4点に基づいて決定されるべきものであり、著者は①～④のすべてを満たさなくてはならない。また筆頭著者もしくは連絡著者のいずれかは日本救急医学会の会員でなければいけない。

### 3. 投稿・査読にあたって

- 1) 投稿規定から外れている論文は受理されずに、差し戻されることがあるので投稿論文が投稿規定に沿っているかどうか、十分に確認すること。
- 2) 投稿に際して、本文の1ページより（文献一覧含む）本文の最後まで、各ページにそれぞれ行番号をワードファイルにふること。行番号のない投稿論文は差し戻されるので行番号を振ったのちに必ず投稿すること。
- 3) 投稿後は、著者の追加、削除、変更は認められないので投稿前に確認を必ず行うこと。
- 4) 投稿論文は受付（送付された論文を受け取ったこと）、受理（投稿論文の必要項目が満足されて査読にまわすこと）、評価（編集委員を含む複数名による査読制）、採用（審査をパスし、掲載できる形となったこと）を経て掲載される。

### 4. 論文の構成

- 1) 総説、原著論文、調査報告、症例報告、症例研究は、①タイトルページ、②英文抄録（キーワード含む）、③和文抄録（キーワード含む）、④本文（倫理規定に関する記載は論文冒頭を含むこと）、

⑤利益相反の開示、⑥謝辞、⑦文献、⑧図の legends とオンライン補足情報の legends（オンライン補足情報とは本誌には含まれないが、オンライン上でのみ公開される本論文の要旨や主張をさらに補強する付加情報を指す。具体的には、ビデオやデータセット等のマルチメディアファイル、追加の画像や表等で英文校閲証明書等公開を前提としないものは含まない）、⑨表（表のタイトルと脚注を含む）、⑩図（写真を含む）、⑪オンライン補足情報。③～⑧までを一つのテキストファイルとして作成して電子投稿システムに本文としてアップロードすること。①、②、⑨、⑩、⑪に関しては別ファイルとしてアップロードする。

2) 研究速報, letter to the editor は、①タイトルページ、②本文（研究速報は図表可）として電子投稿システムにアップロードする。本文と図は別ファイルとしてアップロードすること

## 5. 論文タイプ別規定

各論文タイプの和文・英文抄録、Key Words、字数制限、著者数制限等に関しては下記の表を参考に論文を作成すること。

各原稿種目に対する様式・字数制限

	タイトルページ	和文抄録	英文抄録	Key words
1) 総説	要	要 (600 字以内)	要 (250 words 以内)	3~5 語以内
2) 原著論文	要	要 (600 字以内)	要 (250 words 以内)	3~5 語以内
3) 症例報告・調査報告	要	要 (600 字以内)	要 (200 words 以内)	3~5 語以内
4) 研究速報	要	不要	不要	3~5 語以内
5) Letter to the Editor	要	不要	不要	不要
		字数制限	文献数	著者数制限
1) 総説		英文抄録を除いて 18,000 字以内	50 編以内	7 名以内
2) 原著論文		英文抄録を除いて 18,000 字以内	30 編以内	7 名以内
3) 症例報告・調査報告		英文抄録を除いて 10,000 字以内	20 編以内	7 名以内
4) 研究速報		5,000 字以内	10 編以内	7 名以内
5) Letter to the Editor		2,400 字以内	5 編以内	2 名以内

注：表・図（写真を含める）は各々800字に相当する。和文抄録、Key word、本文、文献、表、図、表・

図の legends も字数制限に含む。

## 6. 原稿の書き方

### A. 一般的注意

- 1) 投稿原稿は Microsoft Word で作成、英文は double space で印字。行数に番号を振ること。
- 2) タイトルページに①論文のタイトル（和文・英文にて）、②ランニングタイトル（奇数ページの上につく省略タイトル、24 文字以内）、③著者全員の氏名（和文・英文にて）、④研究が実施された時点での著者全員の所属機関詳細（和文・英文にて）、⑤連絡責任著者の名前と連絡責任著者が所属する施設・研究機関の郵便番号、電話、ファクシミリを含む住所と E-mail アドレス、を記載する。ある著者の所属先が、研究を実施した時点での所属からその後変更になった場合は、脚注に記載する。
- 3) 統計処理は正しく行うこと。
- 4) 図や表を本文中に引用する際は図表に振られた順番通りに本文で引用すること。
- 5) 用語は現代かな遣い、医学用語以外は常用漢字とする。
- 6) 度量衡等は CGS 単位ならびに下記の例に従う。  
例：cm, sec, hr, mg/dL, mEq/L, mmHg, µg/kg/min
- 7) 外国の人名、地名は原語を用いる。
- 8) 薬品名の記載は和英のどちらかで一般名（generic name）を用いる。
- 9) 特殊な試薬、機器などは必要に応じ、種類、会社名と外国の場合はその所在地（国名）を括弧内に記載する。  
例：エンドトキシン（E. coli 055-B5; Difco, USA）、間接熱量測定装置（Calorimet; Newport, USA）
- 10) 論文中で繰り返される語は略語を用いてもよいが、正式略語または慣習的に使用されているものを原則とし、初回の完全用語に（ ）で以下略語を用いることを明記する。例：multiple organ failure（以下 MOF）

### B. 原稿の各構成要素に関する注意

#### 1) 抄録とキーワード

原著論文に関して抄録は構造化して和文抄録を 600 字以内で、英文抄録に関しては 250word 以内で作成すること。見出しは、「目的」、「対象」、「結果」、「結語」とすること。総説の抄録の構造化は必要ではない。症例報告に関しては構造化されていない抄録を和文で 600 字以内、英文で 200 word 以内で作成すること。

キーワードは適切な言葉を 3 ～ 5 個選択して抄録の下に記載する（英文抄録でも同様）。但しタイトル中の語句を用いてはならない。電子投稿システムの論文キーワードにも同じキーワードを入力すること。

#### 2) 本文の見出し

原著論文の本文の見出しは「背景と目的（もしくは「はじめに）」、「対象と方法」、「結果」、「考察」、「結語」とすること。症例報告の本文見出しは、「背景と目的（もしくは「はじめに）」、「症例」、「考察」、「結語」とすること。

### 3) 図（写真を含める）・表

図（写真を含める）・表、タイトル/内容/説明 (legends) を含め全て英語で記載する。図のタイトルと legends は、図とは別に本文テキストの参考文献の後に各図ごとにまとめて記載する。図中にはタイトル、legends を記載しないこと。また図は JPEG、Tiff あるいは EPS 等の画像ファイルフォーマットでなるべく解像度の高いもので提出すること。表は同じように本文テキストの参考文献の後に表ごとに記載すること。但し表はタイトルおよび legends 共に記載可とする。表はワードもしくはエクセルファイルで作成し、エクセルの場合は表一つに対してエクセルファイル一つで作成すること。ワードやエクセルに張り付けた表は認められない。

4) 英文抄録、図（写真を含める）・表のタイトルや legends は native speaker のチェックを受け、証明書（書式自由）を添付すること。査読後、改定状況により再度校正証明書を要請する場合がある。

### 5) 謝辞

謝辞には研究に提供された資金および著者に対して他から供された研究・留学資金等を記載すること。同僚や所属機関への謝辞等も記載可能だが、ただし個人的人間関係への言及は適当ではない。

### 6) 利益相反の開示

論文の投稿時に著者は利益相反となりうるすべての資金的援助、あるいは企業・機関との関係（研究場所・器具の提供、企業主催の研究会への参加にあたり、講演謝礼や旅費、宿泊費の提供が所定の額を超えた場合等）を開示しなければならない。これには投稿された論文に記載される医療機器や薬品を製造する企業も含まれる。特に臨床試験（医薬品、医薬部外品、健康食品、医療機器等）を含む全てのヒトを対象とした研究に関しては、利益相反関係（例：研究費・特許取得を含む企業との財政的関係、当該株式の保有、公的研究費に基づくかどうか等）の有無を本文の最後に明記すること。利益相反関係がある場合には、関係する企業・団体名も明記する。

注) 利益相反に関する記載例

- ・ 本研究は○○○○の資金提供を受けた。
- ・ ○○○○の検討にあたっては、○○○○から測定装置の提供を受けた。
- ・ 利益相反はない。

利益相反申告書は学会ホームページまたは本投稿規定のリンクからダウンロード可能で、投稿の際全著者の申告書を投稿著者が一つのファイルにまとめて投稿システムにアップロードすることが必須である。たとえ利益相反がなかったとしても、その旨を記して署名した利益相反申告書をアップロードすること。

URL: [https://mc.manuscriptcentral.com/societyimages/jjaam/toukou\\_riekisouhan\\_2012.pdf](https://mc.manuscriptcentral.com/societyimages/jjaam/toukou_riekisouhan_2012.pdf)

### 7) 文献の記載

- (1) 文献は本文中に肩付け、引用番号順に配列する。

- (2) 著者名は筆頭著者から 3 名まで列記し、それ以上は、他または et al とする。
- (3) 誌名略記は、『医学中央雑誌』掲載誌目録略名表および Index Medicus に準ずる。
- (4) 電子媒体（インターネット）によるものも認めるが、引用内容の科学性や倫理性を加味して変更を求める場合がある。

○著者：題名. ウェブアドレス, アクセス日, 年.

例 1) Marion DW, Dommeier R, Dunham CN, et al: Practice management guidelines for identifying cervical spine injuries following trauma. Available online at: <http://www.east.org>. Accessed July 1, 2000.

また、公的機関からの正式発表（法律、規則など）も記載可とする。

(5) 学会・研究会等の抄録は文献として認めない。

(6) 文献記載例

○雑誌：引用番号) 著者名: 題名. 雑誌名. 発刊西暦年; 巻: 頁- 頁.

例 1) 丸藤哲, 澤村淳, 早川峰司, 他: 救急集中治療における血小板・凝固線溶系モニタリングの実際. 日救急医学会誌. 2009; 20: 1-15.

例 2) von Schreeb J, Riddez L, Samnegard H, et al: Foreign field hospitals in the recent sudden-onset disasters in Iran, Haiti, Indonesia, and Pakistan. Prehosp Disaster Med. 2008; 23: 144-51.

○単行本：引用番号) 著者名: 分担項目題名. 編者名. 書名. ( 巻 ) . ( 版 ) . 発行所, 西暦年, p 頁- 頁.

例 1) 鶴飼卓: 国際医療貢献の現場－医師たちの活躍. 大塚吉兵衛編. 国際貢献. ヒョーロン・パブリッシャーズ, 2008, p167-78.

例 2) Spiess BD: Monitoring metabolic indices and coagulation/ hemostasis. In: Blitt CD and Hines RL, eds. Monitoring in anesthesia and critical care medicine 3rd ed. Churchill Livingstone, 1990, p581-603.

#### 7) オンライン補足情報

オンライン補足情報は本誌に含まれず、オンライン上のみで公開される本論文の要旨や主張をさらに補強する、重要ではあるが付随的情報を指す。オンライン補足情報には分量等の関係で本文には含めることのできなかつたデータセットや映像、オーディオ画像、3Dの構造体そのほかのマルチメディアファイル等を含めることが可能である。オンライン補足情報を投稿する場合は本文中に引用して、それを簡潔に説明する legend が提供される必要がある。データは著者が提供した媒体の形式そのまま公開され、査読の対象とはなるが出版前の校正等はされないのので著者は最終的に公開したい形式でファイルを投稿する必要がある。

- ・オンライン補足情報に掲載される図、表、文、データは以下のように番号を振って投稿すること  
補足図 1 ○○○○、補足図 2 ○○○○、補足表 1 ○○○○、補足表 2 ○○○○、  
補足文 1 ○○○○、補足文 2 ○○○○、補足データ 1 ○○○○、補足データ 2 ○○○○
- ・オンライン補足情報が論文に含まれる場合、本文の参考文献後にオンライン補足情報があること

を文章でしめすこと。

## 7. 倫理規定

ヒトを対象とした研究にあたっては、Helsinki 人権宣言に基づくこと。

①所属研究機関あるいは所属施設の倫理委員会ないしそれに準ずる機関の承認を得ていることが必須である。

②個人情報保護に基づき、匿名化すること。なお、十分な匿名化が困難な場合には、同意を文書で得ておくこと。

③症例が含まれる場合、患者本人もしくはその両親、あるいはそれに相当する保護者より論文の掲載に関して同意を得ていること。

④動物を対象とした研究にあたっては、医学生物学的研究に関する国際指針の勧告の趣旨にそったものとし、所属研究機関あるいは所属施設の倫理委員会ないしそれに準ずる機関の承認を得ていること。

以上に関して論文の「背景と目的（もしくは「はじめに）」に必ず記載すること。

## 8. 投稿方法

1) 投稿論文は以下の URL に示されるオンライン電子投稿サイトよりオンラインで投稿をする。  
<https://mc.manuscriptcentral.com/jjaam>。投稿に関する連絡等はすべて E-mail で行われるため、共著者を含む全員の著者の E-mail アドレスを電子投稿システムに記載すること。

2) 投稿に際して必要な書類

投稿に際してはカバーレター、それに図表データを含む投稿論文をそろえてオンライン電子投稿システムより投稿すること。原稿の形式や文字数が投稿規定に沿っているかどうか、投稿規定の論文タイプごとの規定を今一度確認する。

3) カバーレター

カバーレターには次の 7 点を必ず記載する。

①投稿論文は同時に他のジャーナルに投稿されていないこと、

②同じ内容の論文を他誌にすでに掲載していないこと

③共著者を含む全著者がこの論文の投稿とその内容に関して承知していること

④投稿された論文に他誌にすでに掲載された図等の転載がある場合は転載許諾を正規の方法で得ていること。

⑤論文が倫理委員会の承諾を受けているか否か、あるいはその必要がない研究かを明示すること。

⑥この論文は個人情報保護法に基づいて匿名化がなされているかどうか。

⑦症例報告の場合、患者またその家族あるいはそれに準ずる保護者より論文の出版に関する同意を得ているかどうか。

4) 二重投稿と二次出版に関して

二重投稿、盗用など重大な過ちが判明したときは編集委員会および理事会の議を経て処分が決定さ

れる。

但し、下記事項を満たすものは、編集委員長の審査を経て二次出版が容認され、査読の対象となる。

- ①一次出版の編集者から二次出版の許可を得た文書、一次論文のコピー、別冊または原稿を提出すること。
- ②一次出版の優先権を尊重するため、二次出版までには少なくとも1週間をおくこと（双方の編集者による別途取り決めがある場合はこの限りではない）。
- ③二次出版の論文が異なる読者層を対象としていること。
- ④二次出版の内容は、一次出版のデータおよび解釈を忠実に反映していること。
- ⑤二次出版のタイトルページに掲載される脚注において、その論文全体あるいは一部は過去に掲載されたことがあるという旨を読者、査読者、著作権管理機関に対して告知し、初出文献をしめすこと。（脚注例：「本論文は〔雑誌名および詳細な書誌事項〕にて最初に報告された研究に基づくものである」）

## 9. 著作権に関して

論文採択後、投稿を行った著者は著作権を日本救急医学会に委譲する著作権委譲フォームを他の共著者の了解のもとに記入して提出しなければならない。署名や捺印は投稿著者が代表して行うこと可能である。

## 10. 別刷りに関して

著者は50部を単位として該当論文の別刷りを直接印刷会社より購入することが可能である。支払と送付に関する手続きは以下の電話より問合せ可能である

サンビプロダクトセンター 03-3805-7680

その他、投稿査読に関して疑問ある場合は編集事務局にお問い合わせください。

日本救急医学会雑誌編集事務局

〒112-0002 東京都文京区小石川1-28-1

フロンティア小石川ビル4階

TEL 03-3830-1264 FAX 03-5689-7276

E-mail: [JJAAM-editorial@wiley.com](mailto:JJAAM-editorial@wiley.com)